

IT can create it.

KEYWARE
SOLUTIONS

2025年3月期 第2四半期(中間期)
決算説明資料

キーウェアソリューションズ株式会社

東証スタンダード市場 3799



※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



目次

1. 第 2 四半期(中間期) 業績概要
2. 2025年 3 月期 事業方針
3. 2025年 3 月期 通期業績予想
4. 株主還元
5. 参考資料



1. 第 2 四半期(中間期) 業績概要

第2四半期(中間期)業績概要

(単位：百万円)

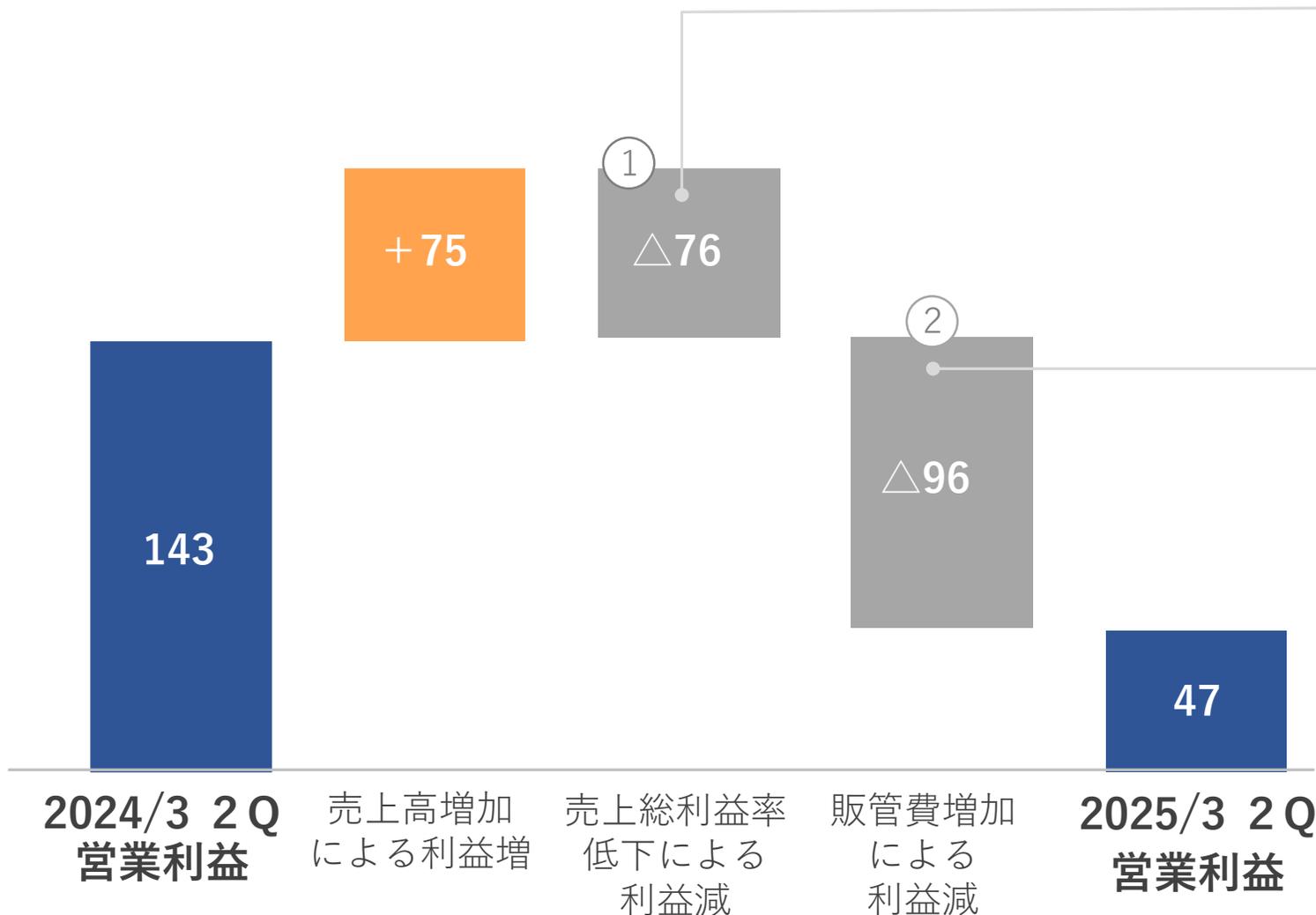
	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比 (下段:増減率)
売上高	9,459	9,911	+451 (+4.8%)
営業利益	143	47	△96 (△67.1%)
経常利益	332	258	△73 (△22.2%)
当期純利益	233	194	△38 (△16.4%)

- ✓ 大型請負案件の開発が堅調に進捗し増収
- ✓ 営業利益は前年同期を下回るも、当期見通しに対して計画通りに進捗
- ✓ 営業外収益として持分法による投資利益201百万円を計上



営業損益変動要因

(単位：百万円)



- ① 売上総利益率低下による利益減
(主な要因)
公共系、運輸系などで前期にあった大型高収益案件の終了に伴う反動減など
- ② 販管費増加による利益減
(主な要因)
人件費、教育・採用などの人材投資費用、社内システムやオフィス改善などの働く環境整備のための費用など

事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

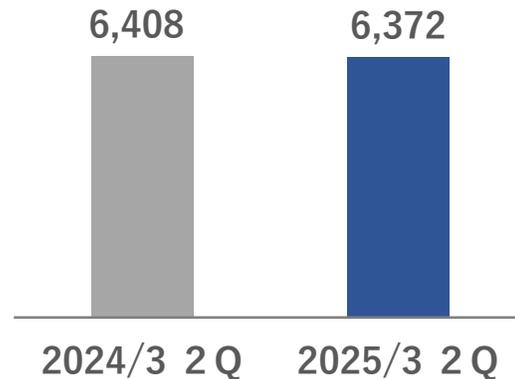
システム開発 事業

（単位：百万円）

	2024/3 2 Q	2025/3 2 Q	前年同期比
売上高	6,408	6,372	△0.6%
営業損益	233	△ 6	—

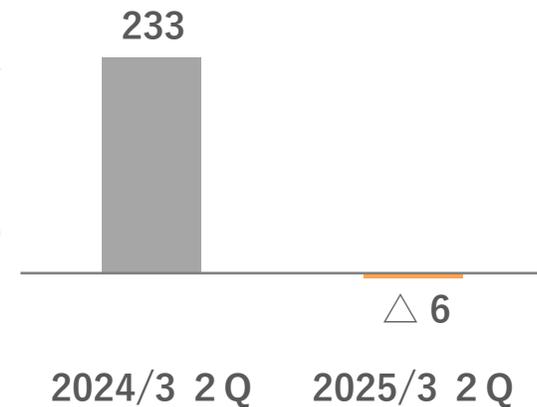
売上高

- ・ 官庁系で既存案件拡大
- ・ 公共系は一部で開発終了に伴う規模縮小があるも大型案件の需要継続
- ・ 運輸系の長期大型案件の完了による反動減



営業損益

- ・ 公共系、運輸系で前期にあった高収益案件終了に伴う反動減
- ・ 一部案件で品質強化のためのコスト増(収束済)
- ・ 下期に回復見込み



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

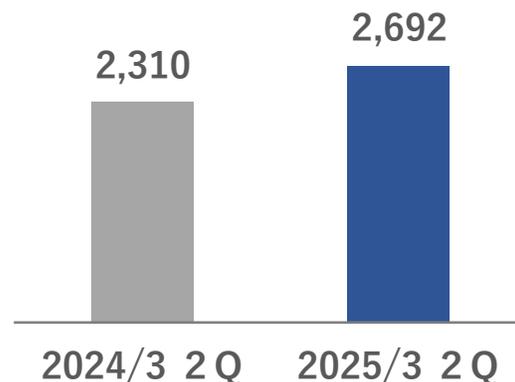
SI事業

（単位：百万円）

	2024/3 2 Q	2025/3 2 Q	前年同期比
売上高	2,310	2,692	+16.6%
営業損益	△32	68	—

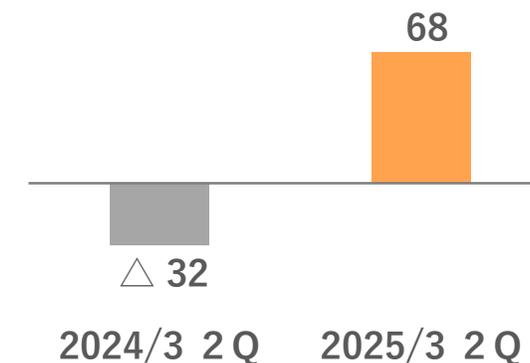
売上高

- ・ ERPを活用した基幹システム構築案件が複数進行
- ・ 既存顧客のインフラ構築案件が拡大



営業損益

- ・ 不採算案件の収束など利益率が改善し、増益



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

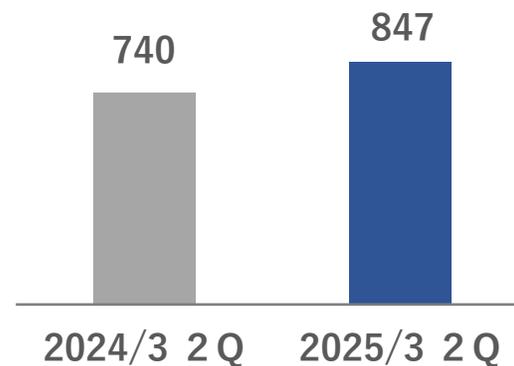
その他事業

（単位：百万円）

	2024/3 2 Q	2025/3 2 Q	前年同期比
売上高	740	847	+14.3%
営業損益	△44	△6	—

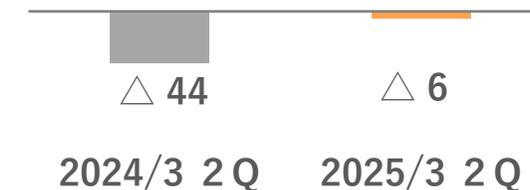
売上高

- ・ サポートサービス系などが堅調に推移し増益



営業損益

- ・ 売上高の増加により改善





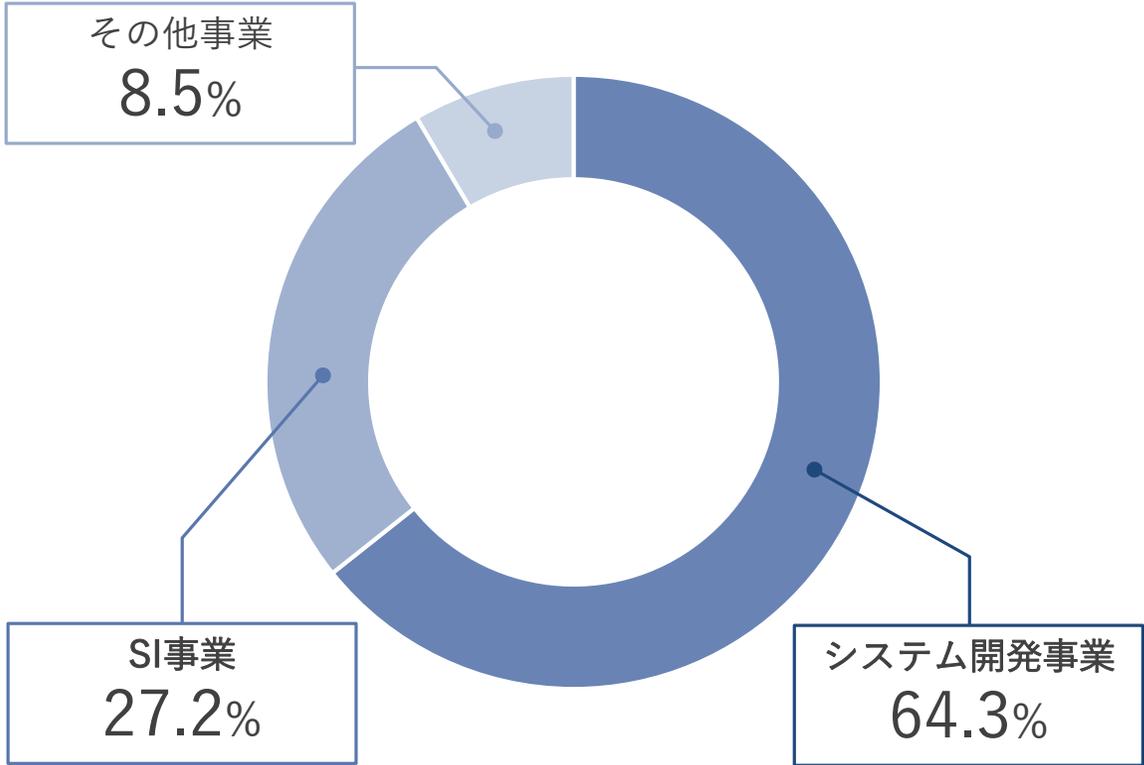
事業区分別（セグメント別）売上高構成比

セグメント別業績（2025年3月期 2Q）

(百万円)

	売上高	営業利益	営業利益率
システム開発事業	6,372	△6	△0.1%
SI事業	2,692	68	+2.6%
その他事業	847	△6	△0.8%

セグメント別売上高（2025年3月期 2Q、比率）





2. 2025年3月期 事業方針

中期経営計画「Vision2026」概要

5カ年中期経営計画(2023年3月期～2027年3月期)
「Vision2026」



2027年3月期
目標値

売上高	240億円
営業利益	14億円
営業利益率	6.0%
ROE	10.0%
ROIC	8.0%

基本方針

I 基盤事業の 質的転換	プロダクト・クラウドサービスの活用拡大 請負案件の受注拡大 特定チャネルJEIS、KEL、CMJ*との連携強化 不採算プロジェクトの抑制
II プライムビジネスの 拡大	プライム顧客の拡大 営業力・提案力強化(コンサルタントの育成等) ソリューション提供力強化
III 新領域への チャレンジ	新領域への参入 (サイバーセキュリティ領域、デジタル金融領域等)

Phase2

基盤事業・新領域
の成長拡大

Phase1

事業基盤の強化・再構築

DX加速によるIT投資需要の継続 ～2026年度見通し

*JEIS:株式会社J R東日本情報システム
CMJ:キヤノンマーケティングジャパン株式会社

KEL:兼松エレクトロニクス株式会社

基盤事業の質的転換に向けた取り組み

プロダクトやクラウドサービス等の活用拡大

社会やお客さまのDX実現を支援



お客様のDX実現をトータルにサポート



コンサルタントによる
お客様の課題解決支援

上期トピックス
P.13



強みであるERPパッケージを
活用した基幹システム構築

上期トピックス
P.14



システム開発～インフラ構築
までトータルな提供体制

上期トピックス
P.15

お客様により近い
ITパートナーとして、
継続的にソリューションを提供





コンサルタントによる
お客さまの課題解決支援

- コンサルティングの提供
 - ・業務最適化コンサルティング・DX/IT化計画策定支援
 - ・PMO支援
- 各種デジタル化ソリューションの導入を支援

上期トピックス

株式会社岩手銀行と「地域のDX推進に係る連携協定」を締結

株式会社岩手銀行（以下、岩手銀行）は、地域のお客さまのIT・デジタル化に関する課題解決のため、2024年4月よりICTコンサルティングサービスを開始しており、当社は、ICTコンサルタントの育成やビジネスマッチングによる各種ITソリューションの提供などのご支援を行ってまいりました。今回の連携協定で関係性をより強固なものとし、盛岡市に拠点を置くキーウェア東北株式会社と密に連携しながら、岩手銀行のお客さまのDX推進を支援してまいります。



地域のDX推進に係る包括連携協定式

プライムビジネス拡大に向けた取り組み（3）



強みであるERPパッケージ
を活用した基幹システム構築

- 長年の実績を基にしたERP導入ノウハウ・スキルを活用
- SAP、Biz f、IFSなど各種ERPパッケージを活用し
お客様のニーズにあったソリューションを提供

上期トピックス

クラウドERP「Biz f Optima®」のIT業界向け
テンプレートを2024年8月より提供開始

今後、他業種のテンプレート拡充を目指してまいります。



https://www.keyware.co.jp/news/240603_02.html

優れたセールスパートナーとして
提携先2社から表彰

- 株式会社NTTデータ・ビズインテグラルより
「Biz f AWARD 2024 Excellent Award」を受賞
(Excellent Award は2年連続、5回目の受賞)
- 株式会社NTTデータ イントラマートより
「intra-mart Award 2024
Superior Partner Award」を受賞
(前年の「Special Project
Award」に続き2年連続受賞)



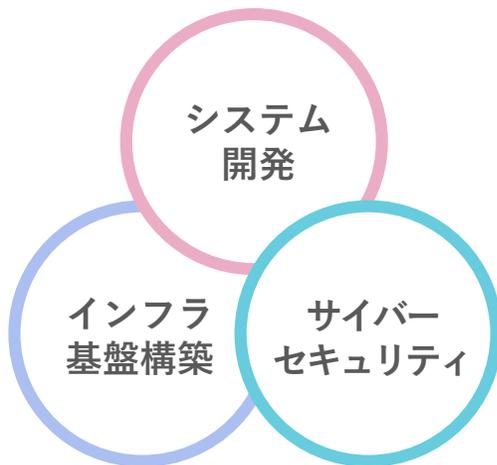


システム開発～インフラ構築
までトータルな提供体制

- クラウド移行のニーズに対応しインフラ構築体制を強化
- 周辺システム構築、セキュリティ脆弱性診断など幅広いITソリューションを提供

上期トピックス

インフラ&セキュリティサービス事業を強化



- システム開発に加えて、強固なインフラ基盤構築、効果的なサイバーセキュリティ対策まで、トータルに請負える体制を構築
- グローバルセキュリティエキスパート株式会社(GSX)との連携により、セキュリティエンジニア育成、提案活動推進

パートナー企業向け インフラ事業方針説明会を開催

インフラ構築体制強化に向けて、パートナー企業向けに事業方針説明会を開催。多くのパートナー企業の皆さまにご参加いただきました。



DX推進をテーマとした事例紹介や講演を各地で実施

- DX推進をテーマとした各地のイベントに出展し、業務最適化コンサルティングやデジタル化ソリューションなどの事例を紹介したほか、当社エバンジェリストが講演を行いました。

主な展示出展・セミナー開催実績(2024年4月～9月)

- 第4回デジタル化・DX推進展 (東京ビッグサイト)
- バックオフィスDXPO 東京'24 夏(東京ビッグサイト)
- ※ その他イベントを含むエバンジェリストの講演登壇回数 15回



バックオフィスDXPO 東京'24 夏

当社参画、農研機構による国内初の農業特化AI試験運用開始

- 当社は、農林水産省が推進する「AI農業社会実装プロジェクト」において、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構(通称:農研機構)が取り組む、農業分野に特化した生成AIの開発プロジェクトに参画しております。本生成AIの試験運用が三重県で10月21日から開始されました。

ご参考: 農研機構プレスリリース(2024年10月18日)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/rcait/166108.html

システム開発事業

当期見通し

- 公共系を中心に大型請負案件の需要継続
- 行政DX推進によるシステム構築需要の増加
- ローコード開発、クラウドサービスを活用した開発の需要継続



上期の状況

- 公共系において大型請負案件の受注堅調、下期も需要継続見込み
- 官庁系の既存案件が拡大、行政DX案件拡大に向けた取り組み進行
- 運輸系大型案件の開発完了に伴う反動減はあるものの、新規領域は拡大傾向
- 監視制御系においては、社会インフラ施設向け受注堅調
- ローコード開発、クラウドサービス等の需要継続、エンジニア育成強化

SI事業

当期見通し

- DX推進や老朽化したITシステムへの対応のため、民間企業の基幹システム構築需要が旺盛
- クラウドへの移行需要が継続見通し



上期の状況

- ERP(SAP、Biz f、IFS)を活用した基幹システム構築案件の引き合い継続、一部顧客都合による受注時期変更があるも概ね計画通り進捗
- Biz f 商社向け自社開発テンプレートの製品強化、下期リリース予定
- インフラ基盤構築事業は上期堅調、既存顧客への展開進展
- DX実現に向けた業務最適化コンサルティング、デジタル化支援などの提案活動推進



3. 2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	予想	前期比
売上高	20,511	21,000	+2.4%
営業利益	873	1,000	+14.4%
経常利益	1,090	1,100	+0.9%
当期純利益	729	770	+5.6%

- ✓ 通期業績予想の変更はなし
- ✓ 中期経営計画に基づく取り組みを着実に推進し、業績予想の達成を目指す

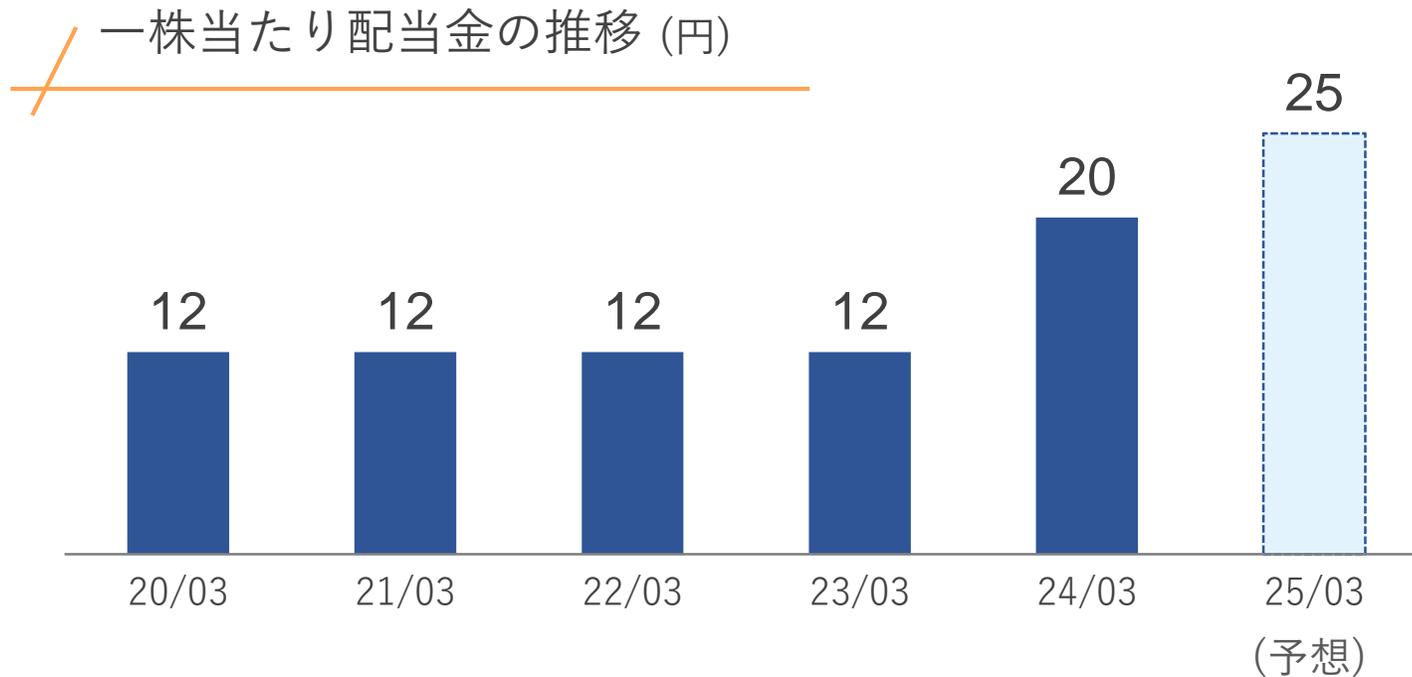


4. 株主還元

株主還元（1）

基本方針

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけております。配当につきましては、最終利益に応じて、今後の事業展開、経営環境などを総合的に勘案したうえで実施していくことを基本方針としております。



一株当たり配当金

2024年3月期(実績)

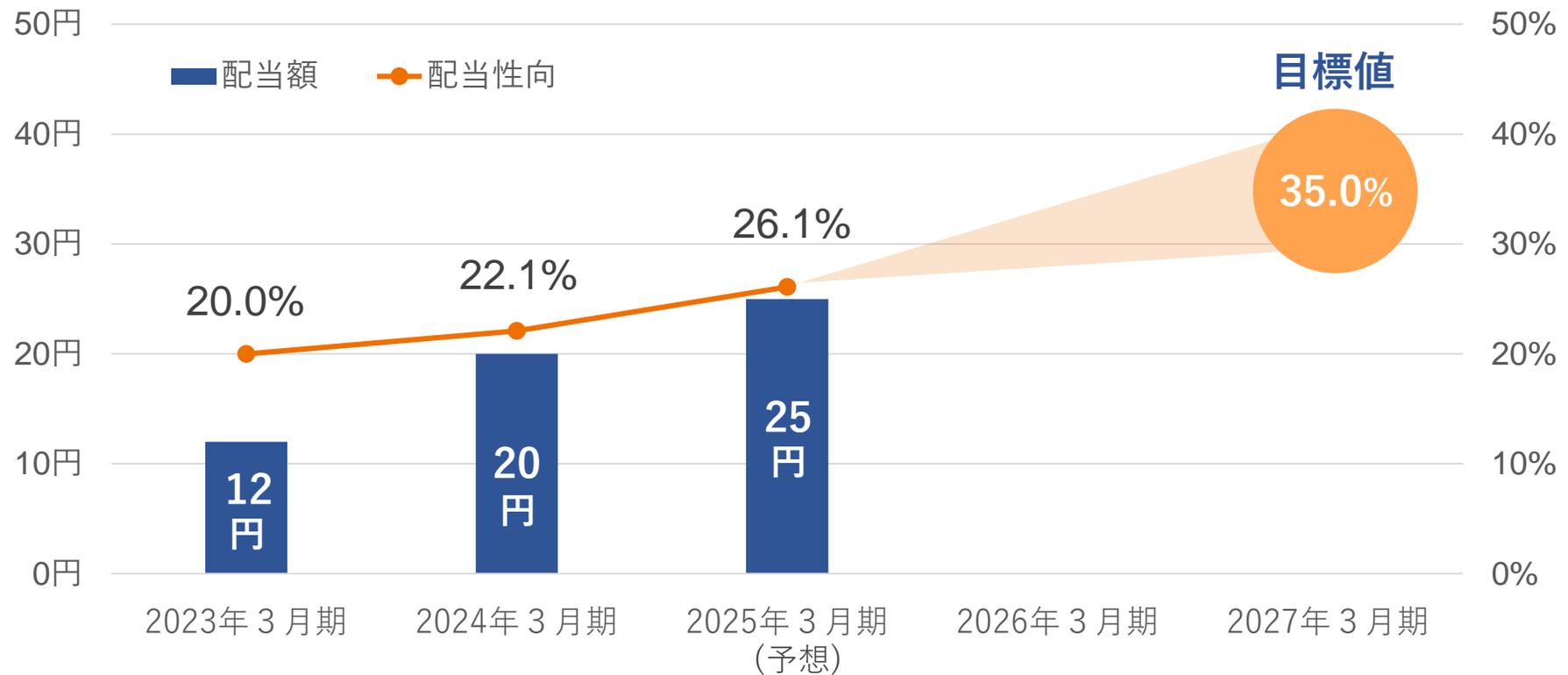
期末配当 **20円**

2025年3月期(予想)

期末配当 **25円**

株主還元の現状と目標

2027年3月期 配当性向35.0%を目指し、業績に応じ段階的に引き上げ



御清聴いただきありがとうございます



本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ | E-Mail : ir@keyware.co.jp



5. 參考資料

社 名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合ITサービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)		
代表者名	代表取締役社長 三田 昌弘		
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	205億円 (2024年3月期・連結)		
従業員数	1,272名 (2024年3月末現在・連結)		
主要法人株主	株式会社HBA キヤノンマーケティングジャパン株式会社	株式会社JR東日本情報システム 住友生命相互保険会社	兼松エレクトロニクス株式会社 株式会社三井住友銀行 (2024年3月末現在)
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア西日本株式会社 株式会社オーガル	キーウェア北海道株式会社 キーウェア九州株式会社	キーウェア東北株式会社 株式会社クレヴァシステムズ

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

Phase4

ジャスダック、東証2部上場
事業領域の拡大に向けて加速

クレヴァシステムズを子会社化、
IT新時代に向けた積極的な取組み

- 1965年 • コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年 • 事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
- 宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年 • SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可
- 1994年 • ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始 • SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1999年 • 品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得 • SAP R/3自社導入
- 2000年 • プライバシーマーク制度認証取得
- 2001年 • 社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更 • キーウェアサービス株式会社設立
- 2002年 • SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞 • 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
- 2003年 • 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
- キーウェア北海道株式会社、キーウェア西日本株式会社、キーウェア九州株式会社設立
- 2005年 • 環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年 • ジャスダック証券取引所に株式を上場 • 資本金を17億37百万円に増資
- 2008年 • 東京証券取引所第2部に株式上場 • 株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年 • 東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年 • 株式会社NTTデータ イントラマートとBizJソリューション販売に関する特約を締結 • BizJ AWARD 2010 秋において「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年 • IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2013年 • BizJ AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
- 2017年 • 合併事業会社「株式会社イーテア」設立 • BizJ AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
- 2018年 • ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞
- 2019年 • キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2019年度 エクセレントアワード」を2年連続受賞
- 株式会社HBAと資本業務提携契約を締結 • テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と資本業務提携契約を締結
- 2020年 • BizJ AWARD 2020 において「Excellent Award」を受賞
- 2021年 • 兼松エレクトロニクス株式会社と資本業務提携契約を締結 • キヤノンマーケティングジャパン株式会社と資本業務提携契約を締結
- キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2021年度 エクセレントアワード」を受賞
- BizJ AWARD 2021 において「Superior Award」を受賞 • 株式会社オーガル設立 • 株式会社JR東日本情報システムと資本業務提携契約を締結
- 2022年 • キーウェア東北株式会社設立
- 2023年 • キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2023年度 DX推進アワード」を受賞
- 株式会社NTTデータ イントラマートより「Intra-mart Award 2023 Special Project Award」を受賞
- 2024年 • BizJ AWARD 2024 において「Excellent Award」を2年連続受賞
- 株式会社NTTデータ イントラマートより「Intra-mart Award 2024 Superior Partner Award」を受賞

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it.

クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。